だれもが幸せなまち 草加
草加市

令和6年度

第2回　草加市総合教育会議

【資料】

令和6年10月24日（木）

SOKA CITY
©2024 草加市

目次

１　「総合教育会議」について …… １

２　第1回総合教育会議の振り返りについて …… ２

３　「グローバル人材の育成」について …… ３

４　「教育環境、学習環境の整備・充実」について …… ４

SOKA CITY
©2024 草加市

1 「総合教育会議」について

◎　総合教育会議とは

・首長と教育委員会が教育行政の大綱や重点的に講ずべき施策等について協議・調整を行う場

※平成26年（2014年）の法改正で、教育委員会制度改革が行われ、**平成27年（2015年）4月から**教育委員長の廃止と教育長の権限強化、教育に関する大綱とあわせて**新設された。**

◎草加市の場合

市長　＋　教育長
５名の教育委員

ポイント

○首長が教育行政に果たす役割が明確になるとともに、首長が公の場で教育行政について議論することが可能に
○首長と教育委員会が協議・調整することにより、両者が教育政策の方向性を共有し、一致して執行にあたることが可能に

【文部化科学省HP】 法律改正の概要 「教育委員会制度、こう変わる」 より

○根拠法令（抜粋）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（総合教育会議）
第１条の４　**地方公共団体の長は、大綱の策定に関する協議及び次に掲げる事項についての協議並びにこれらに関する事項各号に掲げる構成員の事務の調整を行うため、総合教育会議を設ける**ものとする。

一　**教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策**

二　児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずべき措置

SOKA CITY
©2024 草加市

2 第1回総合教育会議の振り返りについて

① 会議の内容について

・日時　：　令和６年８月１９日(月)　13:00~14:30　市役所
・場所　：　市役所本庁舎　８Ｆ　災害対策室A
・会議内容
　・「総合教育会議」とは
　・英語教育について～さいたま市の取組を例に～
　・教育DXについて～「リーディングDXスクール事業」の事例を挙げながら～
　・意見交換
　・その他

② 挙げられた意見（抜粋）

英語教育	教育DX
・草加市は、限られた人材の中でよくやっているし、成果も出ている。 ・うまく話せなくても、コミュニケーションを取ろうとする姿勢が見える。 ・こどもたちがいきいきと学んでいることが実感できている。 ・「話すことが楽しい、英語を話そうとする」ところについて草加市は高い。それをつなげる教育を	・タブレット端末の持ち帰りについては、必要に応じて、学年と時期による。 ・タブレット端末を持ち帰らない利点として、「家庭を守る（家庭と教育と切り離す）」ということがあってもよいのではないか。 ・端末の持ち帰りについては、管理面、費用面、こどもの視力の問題はあるものの、家庭でも活用できる方向にしていければ。

SOKA CITY
©2024 草加市

3 「グローバル人材の育成」について

(1) 草加市における教育大綱＝第四次草加市教育振興基本計画

- 「生きる力を共に教え育てる草加の教育」を基本理念とする。
- これまで重視してきた「自己肯定感・自己有用感の育成」に加え、「他者理解」の重要性にも着目
- 草加市が目指す「だれもが幸せなまち 草加」と基本的な考えを共有
- 草加市総合振興計画とも整合

➡草加市では、本計画をもって、市の教育大綱に代えることとした。

(2) 第四次草加市教育振興基本計画における「グローバル人材の育成」

➡ 施策１－２ 自ら学ぶ「草加っ子」の育成 施策の方向（P.90）

「授業を行う教師と全小中学校に配置しているＡＬＴの役割を明確にし、実践的な英語力(英語をコミュニケーション手段として使う力)を身に着けられる授業を展開することで、児童生徒が言語野文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、グローバル化に対応した児童生徒を育成します。」

本日の会議の議題①

◆「グローバル化に対応した児童生徒を育成する」について

英語は世界への扉です。世界は、多様性に満ちています。ダイナミックな英語の学習を通じて、こどもたちの心と知性を世界につなげていくことで、こどもたちの人生の可能性がを広がると考えています。

この目的を実現するために、今、草加市と草加市教育委員会がどのように連携していくことが必要か、本日はそのための議論をお願いします。

【補足】

教育振興基本計画にあるように、「英語をコミュニケーション手段として使う力」をどのように高めていくか、前回の会議で出た意見も踏まえ、市と教育委員会が連携して検討を進めていければと考えています。

SOKA CITY
©2024 草加市

4 「教育環境、学習環境の整備・充実」について

(1) 第四次草加市教育振興基本計画における「教育環境の整備・充実」

➡ 基本目標３　教育環境の整備・充実（P.78）

「草加市公共施設等総合管理計画」「草加市学校施設等長寿命化計画」等に基づき、計画的に学校教育施設の改修や長寿命化を進め、安全で安心して学習できる教育環境を整備していきます。
教材・備品の整備・充実とともに、教育の情報化に対応した学習環境の整備・充実を図り、児童生徒のコミュニケーション能力、課題解決能力、情報活用能力を育成し、情報モラルの向上を図りながら、ＩＣＴを活用した効果的な教育活動に取り組みます。

(2) 第四次草加市教育振興基本計画における「学習環境の整備・充実」

➡ 施策３－２ 学習環境の整備・充実　主な取組　◆ＩＣＴの整備と活用（P.110）

「主体的・対話的で深い学び」を推進するためにＩＣＴを効果的に活用した授業を展開します。
タブレットを使って意見の交流をしたり、タブレットで資料を提示しながら個別指導を行ったりするなど授業において多様な活動で活用していきます。また、プログラミング教育を推進し、プログラミング的思考を身に付けさせるとともに、授業の工夫改善を通して、児童生徒の情報活用能力の向上を図ります。
ＩＣＴ支援員を配置し、その活用の充実を図ります。また、ＩＣＴ研修を充実させ、授業で効果的に活用できるよう教員の指導力の向上を図ります。

本日の会議の議題②

◆「教育環境、学習環境の整備・充実」について
国（文部科学省）がＧＩＧＡスクール構想の中で教育ＤＸを強力に推進しています。世界は大きく変わりつつある中で、草加のこどもたちに学習のための多様な手段を提供し、学習環境の最大化をはかるためにも、草加市における教育ＤＸを推進する必要があります。
この目的を実現するために、今、草加市と草加市教育委員会がどのように連携していくことが必要か、本日はそのための議論をお願いします。

SOKA CITY
©2024 草加市